

1945(昭和20)年
盛岡市に生れる。

1963(昭和38)年
盛岡の岩手高等学校卒業
武蔵野美術大学造形学部入学(1963 - 67)

1967(昭和42)年
武蔵野美術大学造形学部卒業と同時に渡仏。
パリ美術学校ベルナル・サンジェ教室に在籍し、デッサンとトリグラフを学ぶ(1967 - 69)。

1968(昭和43)年
グランプリ・ド・パーク賞受賞(ニース/フランス)
サロン・アート・リーブル出品(パリ/フランス)

1969(昭和44)年
出光興産の令嬢出光孝子女史の好意で、パリ近郊カシヤン町に在るサム・フランシスの広大なアトリエを無償借用し制作活動を行う。

1970(昭和45)年
新聞『ヌーベル、リテラチュール』に写真掲載(1月1日)
『ルビュール・モデルヌ』に批評載る(2月3日)
サンジェルマン大通りのアパートに引越す。
当時、シテー・ボザールに住むデンマーク人デザイナーのオール・ゾフテン・ラーセンにスプレーによる作画を勧められる。
画廊企画に出品(ユニベルシティ画廊/パリ、フランス)
日本人展(アルゴス画廊/ナント、フランス)

1971(昭和46)年
大神敏枝と結婚する。
パリ12区コルベラ通り7番地のアパートに居を構える。
石川島播磨重工の通訳として、アルジェリアのスキクダに3ヶ月滞在。
オステンド市美術館主催のビエンナーレでヨーロッパ賞銀賞受賞(オステンド市美術館/オステンド、ベルギー)
フランスに帰国。
以後暫く美術館の好意で絵が売れる。

1972(昭和47)年
個展(アトリエ画廊/オステンド、ベルギー)

サロン・コンパレゾンに招待出品。

このサロンの委員で美術家そしてコレクターのバトリック・セリエ氏の知遇を得る。

5年ぶりに帰国。

ヨーロッパの日本人作家展(京都国立近代美術館/京都、東京国立近代美術館/東京)

1973(昭和48)年

『現代の眼』(東京国立近代美術館ニュース、1973年1月号)に寄稿。

宗左近「ヨーロッパの日本人作家」(『芸術新潮』3月号)。

個展(グラフィカ画廊/東京)

個展(M画廊/盛岡、岩手)、この展覧会は小笠原哲二、村上善男、両氏の尽力で急速実現したもの。

アトリエに、画家の田淵安一氏がスカンジナビア一番の画廊主ビルク氏を同行して来訪。

グループ展<ベン・リンドストローム、田淵安一、テレマック、ヤン・ヴォス、ピエール・ウエマール、エジール・ヤコブセン、ポール・ヤニユス・イブセン、モーガン・アンデルセン、他>

エディション・ビルクで石版画2点制作。

1974(昭和49)年

個展(アルカヌ画廊/ブリュッセル、ベルギー)

美術家ユー・ヴァイス氏の作品に共鳴し交友始まる。以後毎年サロン・ド・メに招待出品。

国際版画展3人展(ダングラヒック/コペンハーゲン、デンマーク)

日本人作家招待展(サロン・ドートンヌ/リヨン、フランス)

1975(昭和50)年

個展(北上画廊/北上、岩手)

個展(MORIOKA第一画廊/盛岡、岩手)

個展(ギン画廊/銀座、東京)

6人展(シメーズ画廊/鎌倉、神奈川)

1976(昭和51)年

岩手中学校・岩手高等学校創立50周年記念美術展(盛岡地区合同庁舎別館2F/盛岡、岩手)に近藤一彦、佐藤祐司、宇津宮功、他が参加。

個展(クロード・ジョンゲン画廊/ブリュッセル、ベルギー)、油彩画の大作70点を出品。

1977(昭和52)年

個展(画廊ザンボアー/館山、千葉)

1978(昭和53)年

グループ展(イクオ画廊/パリ、フランス)

個展(リヴ・ゴージュ画廊/パリ、フランス)、ここはコブラ・グループをパリで初めて紹介した画廊。

現代美術展(ジャン・ヴィラー文化センター/イル・サン・ドゥニ、フランス)

個展(クリスタル画廊/盛岡、岩手)

個展(ロイエ・ドゥ・ブッフ画廊/パリ、フランス)

セザンヌの入浴展(ロイエ・ドゥ・ブッフ画廊/パリ、フランス)

1979(昭和54)年

キューバ革命20周年記念展(ユネスコ会館/パリ、フランス)

グループ展(ヴェラ・リュカ美術館/ユーゴスラビア)

風景展(オジマ画廊/パリ、フランス)

個展(クロード・ジョンゲン画廊/ブリュッセル、ベルギー)

第11回国際絵画フェスティバルに日本代表として参加、コミッショナー江原順(カーニュ・シュル・メール、フランス)

個展(北上画廊/北上、岩手)

1980(昭和55)年

美術とスポーツ(フローニユ文化センター/パリ、フランス)

リアリズム・イマジユール展(モントルイユ文化センター/パリ、フランス)

バラレル80展(サンタンヌ画廊/パリ、フランス)

第1回国際ポートレート・ビエンナーレ(ユーゴスラビア)

個展(舞踏文化センター画廊/パリ、フランス)

切手祭展(ロイエ・ドゥ・ブッフ画廊/パリ、フランス)

恩師小笠原哲二氏死去。

1981(昭和56)年

個展(MORIOKA第一画廊/盛岡、岩手)

個展(日本画廊/日本橋、東京)

美術ジャーナリスト愛甲健児氏が、『新美術新聞』(12月11日)誌上で年間展覧ベスト3に「日本画廊で開催した宇津宮功展」を選出。

個展(隆英堂画廊/豊橋、愛知)

岩手放送ラジオ番組「風のグラフィティ」に出演(10月5日-9日放送)。
フロンダシオン・ヴィトリイ賞受賞(ヴィトリイ、フランス)。
岩手県優秀美術選奨受賞。

1982(昭和57)年

個展(ヴィトリイ市民ギャラリー/ヴィトリイ、フランス)

1983(昭和58)年

ディナ・マルコ女史の紹介で、オーデルマット画廊と2年間専属契約を結ぶ。

オーデルマット画廊企画「カルト・ブランシュ」(ル・パルビ文化センター/フランス)

FIAC・絵画国際見本市(グラン・パレ/パリ、フランス)

招待展(ガイゲエ画廊/ドイツ)

1984(昭和59)年

フランス文化放送ラジオ番組「画家とアトリエ」に出演し、ミッシェル・シャビユイと対談(3月10日)。

グループ展(ガイゲエ画廊/シュトゥットガルト、ドイツ)

個展(ガイゲエ画廊/シュトゥットガルト、ドイツ)

色彩の彼方展(サロン・ドートンヌ/パリ、フランス)

FIAC絵画国際見本市(オーデルマット画廊、グラン・パレ/パリ、フランス)

1985(昭和60)年

FIAC絵画国際見本市(オーデルマット画廊/パリ、フランス)

日本人作家12人展(セルジー・ポントワーズ文化センター/セルジー・ポントワーズ、フランス)

海と船(ロウユ・ドゥ・ブッフ画廊/パリ、フランス)

岩手県優秀美術選奨受賞作家展(萬鉄五郎記念館/東和、岩手)

1986(昭和61)年

エクスプレッション・リリック(フローラ画廊/パリ、フランス)

美術批評家ユリディース・トリュシオンを知る。

サロン・コンパレゾン(パリ、フランス)

サロン・ドゥ・フィギュラシオン・クリティック(パリ、フランス)

個展(日本画廊/日本橋、東京)

ドローイングによる個展(なびす画廊/銀座、東京)

個展(MORIOKA第一画廊/盛岡、岩手)

フランス文化放送ラジオ番組「画家とアトリエ」に出演(10月30日)。

セリエ氏からリトグラフ4点の制作依頼(12月)。

1987(昭和62)年

从展(東京都美術館/上野、東京)

個展(コディラク画廊/ボルドー、フランス)

1988(昭和63)年

サロン・ドゥ・パニユエ(パリ郊外/パリ、フランス)

個展(パリ日本大使館/パリ、フランス)

2人展(チモチイ・チュー画廊/アトランタ、アメリカ)

個展(ルーアン市現代美術センター/ルーアン、フランス)

1989(昭和64/平成元)年

個展(ガイゲエ画廊/シュトゥットガルト、ドイツ)

アート・SOS・アルメニア(エスパース・ピエール・カルダン/パリ、フランス)

個展(日本画廊/日本橋、東京)

グワッシュによる個展(なびす画廊/銀座、東京)

ドローイングと油彩による個展(MORIOKA第一画廊/盛岡、岩手)

ヴァン・ゴッホへのオマージュ展(ロウユ・ドゥ・ブッフ画廊/パリ、フランス)

1990(平成2)年

アジャンダ90(ルーアン文化センター/ルーアン、フランス)

ヴィトリイ賞20周年記念展(ヴィトリイ市民ギャラリー/ヴィトリイ、フランス)

ヴァンサン・ヴァン・ゴッホからテオへの手紙展(ポントワーズ、フランス)

ザ・ブラックイメージ(チモチイ・チュー画廊/アトランタ、アメリカ)

ドローイング展(MORUOKA第一画廊/盛岡、岩手)

小品展(ロウユ・ドゥ・ブッフ画廊/パリ、フランス)

1991(平成3)年

創造空間と表現(オタリア画廊/パリ、フランス)

1992(平成4)年

個展(ローイユ・ドゥ・ブッフ画廊／パリ、フランス)
個展(MORIOKA第一画廊／盛岡、岩手)
個展(アート・デューン画廊／浜松、静岡)
個展(日本画廊／日本橋、東京)
ドローイング展(アート・デューン画廊／浜松、静岡)
岩手・現代美術シリーズ I 宇津宮功展(萬鉄五郎記念館／東和、岩手)〈資料13・B〉
美術雑誌『サロン・デザール』1月号にイブ・ブリュネール氏による作品評掲載。
柳川恒徳による作品評。

1993(平成5)年

浜松市美術館のガラス絵展で作品買い上げ。

1994(平成6)年

個展(MORIOKA第一画廊／盛岡、岩手)

個展(日本画廊／日本橋、東京)

1995(平成7)年

個展(アート・デューン画廊／浜松、静岡)

美術雑誌『プラージュ』企画による4大元素展(パリ、フランス)

絵皿展(レオフォル・オブノ画廊／パリ、フランス)

1996(平成8)年

3人展〈菅井汲、原田宏、宇津宮功〉(アート・デューン画廊／浜松、静岡)

アートフェスティバル96(ストラスブルグ、フランス)

個展(レオホール・オブノ画廊／パリ、フランス)

1997(平成9)年

SAGA国際見本市(レオホール・オブノ画廊／パリ、フランス)

小品展(アート・デューン画廊／浜松、静岡)

サロン・ド・メ・ブリュッセル展(ディエルマン画廊／ブリュッセル、ベルギー)

サロン・ドートヌ(パリ、フランス)

サロン・マルヌ・ラ・バレ造形展(フランス)

絵皿展(レオフォル・オブノ画廊／パリ、フランス)

1998(平成10)年

個展(MORIOKA第一画廊／盛岡、岩手)

個展(日本画廊／銀座、東京)

個展(アート・デューン画廊／浜松、静岡)

日本人作家100人展(日本文化センター／パリ、フランス)

滞仏30年記念展(福岡市美術館／福岡市、福岡)

1999(平成11)年

ビザール展セレス・フランコ・コレクション(ブール・シュール・イヴェット、フランス)

日本現代美術展(ブルグイユ・アート・サロン／ブルグイユ、フランス)

情熱の果実(モン美術館／ブリュッセル、ベルギー)

大作展(アート・デューン画廊／浜松、静岡)

久慈文化センター壁画完成3×7m(久慈、岩手)。

久慈文化センター・エスキース展(久慈文化センター／久慈、岩手)

2000(平成12)年

小品展(アルグモン画廊／モンヴァゾン、フランス)

2000年を祝い 超ミニ作品2000点展(レオホール・オブノ画廊／パリ、フランス)

エスキース展(日本画廊／日本橋、東京)

エスキース展(アート・デューン画廊／浜松、静岡)

セレス・フランコ・コレクション展(ベルヴァル城／ミラマ、フランス)

32回国際絵画フェスティバル 日本現代視覚展(カーニュ・シュール・メール美術館／カーニュ・シュール・メール、フランス)

2001(平成13)年

ジャン・ドュビュフェに捧げる 羅針盤のない旅行者展 に3メートルの狂気立方体を出品(ボンビドゥー現代美術館／パリ、フランス)。

個展(MORIOKA第一画廊／盛岡、岩手)

2002(平成14)年

人類の良き友だち犬猫展(日本画廊／日本橋、東京)

M氏コレクション(石神の丘美術館／岩手町、岩手)

2003(平成15)年

個展(アート・デューン画廊／浜松、静岡)

個展(日本画廊／日本橋、東京)

第6回イル・ド・フランス美術フォーラム 野生の欲望(ボリス・ヴィアン文化センター／ボリス、フランス)

2004(平成16)年

グループ展・メルキュールの夕べ(ヴェラー画廊/パリ、フランス)

個展(エレファンブラン画廊/パリ、フランス)

10人展(アート・デューン画廊/浜松、静岡)

肉体展(ホホワイト・エレファン画廊/パリ、フランス)

人類の祭典100周年記念展(パリ、フランス)

小品展(ギャラリー・リベルテ/サントワン、フランス)

2005(平成17)年

グループ展・メルキュールの夕べ(ヴェラー画廊/パリ、フランス)

いわて近代洋画100年展(石神の丘美術館/岩手町、岩手)

第12回ビエンナーレ109(パリ、フランス)

2006(平成18)年

グループ展・メルキュールの夕べ(ヴェラー画廊/パリ)

個展(日本画廊/日本橋、東京)

メルキュールの夕べ展(Bunkamuraギャラリー/渋谷、東京)

個展(アート・デューン画廊/浜松、静岡)

パリの日本人展(つばき画廊/パリ、フランス)

サロン・ド・メ(同会はこれを最後に終了)

2007(平成19)年

グループ展・メルキュールの夕べ(ヴェラー画廊/パリ、フランス)

ビエンナーレ109(リヨン、フランス)

宇津宮功展(石神の丘美術館/岩手町、岩手)

2008(平成20)年

グループ展・メルキュールの夕べ(ヴェラー画廊/パリ、フランス)

個展(日本画廊/日本橋、東京)

個展(九州日仏学館/福岡市、福岡)

個展(シュレイパー画廊/ブリュッセル、ベルギー)

2009(平成21)年

第14回ビエンナーレ109(パリ、フランス)

2010(平成22)年

個展(グラン・エターナ画廊/パリ、フランス)

宇津宮功の世界(岩手県立美術館/盛岡、岩手)

初の著書宇津宮功回想録『パリの絵描きの夢舞台』(未知谷社)を出版。

20年間の記録展(レオフォール・オブノ画廊/パリ、フランス)

2012(平成24)年

個展(日本画廊/日本橋、東京)

個展(グラン・エターナ画廊/パリ、フランス)

2013(平成25)年

宇津宮功展(日本画廊/日本橋、東京)

平泉国際交流展(盛岡、岩手)

個展(バージュ、フランス)

2014(平成26)年

個展(フィーター、フランス)

2015(平成27)年

個展(啄木賢治青春館/盛岡、岩手)

2016(平成28)年

個展(MORIOKA第一画廊/盛岡、岩手)

宇津宮功著書、2冊目の回想録『自画像シラップの塔』(風濤社)出版。

2017(平成29)年

個展(グラン・エターナ画廊/パリ、フランス)

2018(平成30)年

個展(日本画廊/日本橋、東京)

2019(平成31/令和元)年

ヴィトリイ賞50年記念展(ヴィトリイ、フランス)

常設展示(岩手県立美術館/盛岡、岩手)

2021(令和3)年

個展(萬鉄五郎記念美術館/花巻、岩手)